

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスoneすてっぴ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

31日

法人（事業所）理念		1. 生命の尊厳 私たちは、子供と障害ある人たち1人ひとりをかけがえのない存在として大切にします。 2. 個人の尊厳 私たちは、子供と障害のある人たちのひとりの人間としての個性、主体性、可能性をつなげます。 3. 人権の擁護 私たちは、子供と障害ある人たちに対する、いかなる差別、差別虐待、人権損害も許さず人としての権利を、擁護します。 4. 社会への参加 私たちは子供と障害のある人たちが、社会を構成する一見として豊かな市民生活が送れるように一人ひとりのニーズに沿った支援を心がけます。					
支援方針		子供達が1人の人間として生きていく力を育てていき、お子様たちの発達に不安や疑問を抱えている皆様不安や悩みを解決し子供たちの未来のために1歩ずつ進み、笑顔で楽しく安心して過ごせる場所を目指しています。					
営業時間		9時	30分	17時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	基本的動作（身支度・身辺整理・排泄・手洗い）が身に着けられるように支援していく。声掛けやサポートをしながら生活習慣が身に着けられるように支援していく。健康面では必ず検温・手洗いを実施し、確認を行う。体調不良の場合にはすぐに、保護者へ連絡をし、場合によっては掛かりつけ医師へ連れて行く。					
	運動・感覚	作業療法も取り入れて、手先や指先を上手に使えるように、ひも・ボタン・ファスナー・はさみを使用し手先の運動（感覚運動）を支援していく。外遊びも実施し、公園、アスレチック等を訪れて体を動かす楽しさを伝えて行く。					
	認知・行動	落ち着きがない、集中力がない等の困りごとを落着いて行動が出来るように指導していき、集中力が養えるように、サポートする。本児が楽しいと思えたり、興味がわいてくるような課題を実施していく。					
	言語 コミュニケーション	言語聴覚士による、個別療育を実施し、利用児の理解や言語力・コミュニケーション能力を把握し、本児に沿った支援プログラムを考え、個別指導を行っていく。必要であれば、言語訓練以外にも飲み込むことが困難である本児に対し授食・嚥下訓練も助言も行っている。					
	人間関係 社会性	個別療育・集団療育の中でつまずきのある課題を1つ1つサポートして楽しく学べるように支援していく。また張り合う事も大切な事なので物の貸し借りが上手に出来るように指導していく。そしておごめんなさい・ありがとうが伝えられるようにサポートしていく。					
家族支援		保護者と自宅での様子伺い情報を提供してもらい、利用児の状況を分析して、自宅で出来ることを指導する。なお家庭での困りごとや悩みがあれば適切なアドバイスをしていく。			移行支援		未就学児に対しては、現在通っている幼稚園や保育園と相談しながらこちらでの療育日数などを増やし必要であれば、集団で学べる場を紹介していく。
地域支援・地域連携		利用者の通っている保育園や小学校のとの情報共有及び連携を図っている。近隣の幼稚園や児童クラブと交流を図るよう検討。			職員の質の向上		働く人のモチベーション向上に努める。楽しい職場、働きやすい職場作りに努める。
主な行事等		工場見学・ピクニック・ハロウィンパーティー・クリスマスパーティー・カレー・焼きそばパーティーなど					